



2016
平成28年

6

きずな

K I Z U N A

特集
テーマ

男女共同参画

支え合って いきいきと



2

「芸能でつなぐ 人と人」

根岸 季衣さん(俳優)

3

「求められる『これからの男女共同参画社会』」

伊藤 公雄さん(京都大学大学院文学研究科 教授)

4

「ドメスティックバイオレンス(DV)を防ぐために」

多賀 太さん(関西大学文学部 教授)

5

「家族優先をモットーに 働く女性を支援」

藤浪 芳子さん(昭和精機株式会社 代表取締役会長)

6

「バンド活動を通じて、病気の正しい理解を啓発」

中新井 美波さん(1型糖尿病患者によるバンド「1-GATA」ボーカル)

7

ふれあいサロン

8

情報ぶらさ



兵庫県マスコット
はばタン

兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

輝く女性にインタビュー 芸能でつなぐ 人と人

俳優 ^{ね ぎ し と し え} 根岸 季衣さん

豊かな演技力で定評がある根岸季衣さん。テレビドラマや舞台で大活躍です。また、自らバンドを結成するなど、多方面で意欲的に活動されています。

これまでに、県と協会が制作した人権啓発ビデオ2作品にもご出演いただきました。

兵庫県では、このたび「ひょうご男女いきいきプラン2020」が策定され、男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会をめざした取り組みが進められています。

本号では、男女がそれぞれの個性と能力を発揮し、互いに支え合いながら、健やかに安心して暮らせる社会について考えてみましょう。

Q1 デビューのきっかけは。

A

桐朋学園の演劇科学生だった19歳の時に、当時まだ無名の、つかこうへいさんと偶然に出会った幸運から、初主演作「ストリッパー物語」が生まれまし
た。この思い出深い作品がきっかけとなりました。

Q2 現在の主な活動を教えてください。

A

6月5日までは「パーマ屋スミレ」東京公演中です。兵庫県立芸術文化センター中ホールでも6月17日(金)18:30/18日(土)13:00に公演します。ご来場いただければ幸いです。

Q3 ご出演いただいた人権啓発ビデオ「あなたに伝えたいこと」(H26)で印象に残っていることは。

A

現在の同和問題を扱った作品でした。いまだ意識の中に残る同和問題を感ずることができました。今の時代らしく、ネットでの検索も取り入れられていましたが、正しい知識を身につけることが大切だと思いました。私の母世代、そして次世代と意識の変遷を実感したことが印象に残っています。

Q4 つながりづくりのために、大切なことは。

A

世の中にはさまざまな差別や偏見がありますが、それらをはっきり否定することが大切。その意思表示をするのが難しい時でも、同調しないという意識をきちんと持つ。樂觀的かもしれないませんが、人を好きになれば、自然にみんなつながれると思っています。

Q5 今後の活動の抱負は。

A

舞台、映像どちらの仕事も楽しいし、ブルースバンドとしてのライブも一つの間にか十数年となりました。ずっとこつこつ続けていきたいですね。

プロフィール

1954(昭和29)年2月3日生まれ、東京都出身。桐朋学園在学中に劇作家・演出家のつかこうへいさんと出会って、鮮烈なデビューを飾り、脚光を浴びる。『ヒモのはなし』で第13回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。ほか『蒲田行進曲』の小夏役を演じるなど、つかこうへい作品黄金期を支える一人。



求められる 「これからの男女共同参画社会」

京都大学大学院文学研究科教授

伊藤 公雄さん
いとう きみお

日本社会が人類の歴史上体験したことのない超少子高齢社会に突入していることは、多くの人がご存知だろうと思います。高齢社会の深まりは、高齢者福祉の一層の必要性や、介護の課題の深刻化をもたらすでしょう。また、少子社会は、働く現役世代が減少する社会でもあります。

それならどうしたらいいのでしょうか。大きな鍵を握るのが、女性の社会参画の拡大です。

かつての農業や自営業を中心とする日本社会では、女性はきわめて重要な生産労働力でした。しかし、高度経済成長にともなう工業化の深まりは、男性を工場や事務仕事へ向かわせ、他方で、女性を家事・育児へ、さらに子育てが終わるとパート労働へ、という男女の労働の分業の仕組みが強化されていきました。

確かにこの仕組みは、日本の経済を豊かにしました。男性たちは家庭のこ

とを顧みず長時間労働に耐えて働き続け、女性たちは家事・育児に加えて安いパート労働で社会を支えてきたのです。実際、一時は「ジャパン・アズ・ナンバーワン※」という経済的成功を実現させました。

1990年代に入ってバブル経済が崩壊して以後、地域や家族の関係が希薄になった不安定な日本社会が、少しずつその姿を見せ始めました。本当は、この段階で、男女の働き方や地域や家族の関係の再生を準備するべきだったのです。でも、それまでの20年ほどの「成功体験があったために、なかなか」「男性は長時間労働、女性は家事・育児プラス負担が軽い非正規労働」という仕組みの見直しは日本社会にはできなかったのです。

現在、やっと日本政府も「女性の活躍」を語り始めています。これまでの男女の働き方では、この超少子高齢社会には対応できないことに気がつき

始めたのです。主に男性主導で進められてきた社会を男女で対等に支えることが必要なのです。

とはいえ、女性の活躍が、「女性も男性並みの長時間労働」ということは、社会は回リません。女性の社会参画の拡大には、他方で、「男女の仕事と家庭生活の調和」が不可欠なのです。

男女で社会を支え、男女で育児や介護、地域生活が可能な本格的な男女共同参画社会が、今、求められています。



プロフィール

1951(昭和26)年、埼玉県生まれ。京都大学大学院文学研究科修士課程修了。大阪大学大学院教授などを経て現職。専門は社会学。主な社会活動として、滋賀県男女共同参画審議会会長、京都府男女共同参画審議会会長、大阪府男女共同参画審議会会長がある。著書は『「男らしさ」という神話』(NHK出版)など多数。



※1979年にアメリカの社会学者でハーバード大学教授のエズラ・ヴォーゲル氏が、日本型経営によって高度成長がもたらされたことなどを賞賛した言葉。

ドメスティックバイオレンス(DV)を防ぐために

DVの現状

内閣府の調査によれば、既婚者のほぼ5人に1人が、配偶者からの暴力等(身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要)を受けた経験があり、そのうち10人に1人は命の危険を感じるほどの被害を受けています※1。交際相手からの暴力(デートDV)を経験した人は約15%で、そのうち5人に1人が命の危険を感じるほどの被害に遭っています。

平成26年度には、全国でDVの相談件数が10万件を超え、警察の受理件数も6万件近くにのびりました※2。男性が女性から被害を受けることもありますが、致命的な暴力の大半は男性から女性に振るわれています。最も安全であるはずの家庭で命の危険にさらされている人が大勢いるのです。

DV対策の効果

2001(平成13)年にいわゆるDV防止法が施行され、その後3回の改正を経て、少しずつ対応が強化されてきました。相談・認知件数が増えているのは、実際の被害が増えている

というよりも、相談体制や警察の対策が充実し、それだけ相談・発見がしやすくなったからであるとも考えられます。

しかし、多くの課題が残されています。被害者とその子どもたちの生活を支える最後の砦である「民間シェルター」への公的支援が圧倒的に不足しています。DV防止法は、いわゆるデートDVの被害には適用されません。また同法は、DVを発見した人に、配偶者暴力相談支援センターか警察官に通報する努力義務を定めています。多くの人はまだこのことを知りません。

ホワイトリボンキャンペーン

DVをなくしていく鍵の一つは、暴力を振るわない大多数の人々、とりわけこの問題に無関心になりがちな男性たちが、DVを他人事と見なすのではなく、社会全体で責任をもって解決すべき課題だと認識し、行動することです。

そうした取り組みの一つに、1991(平成3)年にカナダで始まった「ホ

ワイトリボンキャンペーン」があります。男性が主体となつて、女性に対する暴力防止に取り組む世界最大の啓発活動で、50カ国以上に広がっています。日本では、2012(平成24)年に神戸で始まり、2016(平成28)年4月には「一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン(WRCJ)」※3が設立されました。非暴力系男子(女性に対する暴力を、振るわない、許さない、沈黙しない)や、フェアメン(女性を対等な相手として尊重する男性)を増やすべく、全国へ活動を展開します。WRCJとともに、DVのない世界をめざしませんか。



関西大学文学部教授

たがふとし
多賀太さん

プロフィール

専門は、教育社会学、男性学。1990年代半ばから、男性問題の解決をめざす市民活動に参加。現在、大阪市男女共同参画審議会長。女性に対する暴力防止の啓発に男性主体で取り組む「一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン」共同代表。著作に『男子問題の時代?』(学文社)、『揺らぐサラリーマン生活』(ミネルヴァ書房)など。



※1 平成26年度「男女間における暴力に関する調査」の男女計
※2 配偶者からの暴力に関するデータ(平成27年9月10日 内閣府男女共同参画局)
※3 <https://www.facebook.com/wrcj.jp>
多賀太・伊藤公雄・安藤哲也『男性の非暴力宣言』岩波書店



昭和精機株式会社
代表取締役会長
ふじなみ よしこ
藤浪 芳子さん

家族優先をモットーに 働く女性を支援

神戸市西区にある昭和精機株式会社は、医療用カートなどの電子製品や油圧・空圧制御機器等の製造を行っている会社です。すべての社員が「人間らしい精神的ゆとりのある生活」を追求できるように、多様な働き方を取り入れています。

従業員の生活状況や意思を尊重

会長の藤浪芳子さんが社長に就任したのは約35年前。2人の子育てをしながら祖母の介護をする日々から一転、何の知識もないビジネスの世界に飛び込むことになりました。しかし、経営も現場も知らない主婦に社員がついてきてくれるはずもなく、社員数は激減。「倒産」の文字がちらついたとき、一念発起して猛勉強を始めました。「当時は社員からの信頼を得るためにがむしゃらで、子どもにさみしい思いをさ

せた」と振り返ります。

そんな経験を元に、職場には、仕事と家庭を両立させることを第一に考えた働き方を取り入れてきました。

例えば、子育て中のパート女性従業員を採用した場合、一日4時間勤務から始めて、子どもの成長に合わせて就業時間を一時間ずつ増やしていきます。そして、8時間になったときに、正社員として採用するという方法を取り入れています。他にも、定年退職後も働ける範囲で勤務する制度を設けるなど、本人の状況や意思を尊重することを大切にしています。

多品種少量の製造をしているため、この仕事はこの人と個人技を求められがちですが、同社では、主担当以外の業務も担当できるように多能工化を進めています。そのため、従業員の急な休みにも対応できるように、安心して働くことができる」と好評です。

製造現場で女性が活躍

男性の職場とわれがちな製造現場ですが、「力」の部分さえ機械でカバーすれば、男女の差はない」と藤浪さんは考えています。女性が楽に製品を運搬できる専用の道具を導入するなど、女性の活躍を支援しています。経験を積みめば、管理職として若手の指導にも能力を発揮できる環境があります。

「従業員にはできるだけ長く働き続けてもらいたい」と話す藤浪さん。「家族優先」をモットーに社員との対話を大切にしながら、多様な働き方を提案しています。



鋼鉄製の重い部品は、リフトの力を利用して移動させます。

1947(昭和22)年、明石に「昭和精機工作所」を創業。1986(昭和61)年から「昭和精機株式会社」と改名。現在の代表取締役社長は息子の藤浪智二さん。

2014(平成26)年には、ひょうご仕事と生活センターが、仕事と生活のバランスを図るために先進的に取り組んでいる企業を表彰する「仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞されました。

住所 神戸市西区高塚台6丁目19-13
TEL 078(997)0551



「ひょうご男女いきいきプラン2020」を策定しました！

兵庫県はこのたび、第3次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2020(計画期間：平成28年度～32年度)」を策定しました。

〈めざす社会〉

男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会＝男女共同参画社会

〈プランの5つの重点目標と13の推進項目〉

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/keikaku.html>

1 すべての女性の活躍

- ①あらゆる分野への女性の参画拡大
- ②女性の能力発揮の促進と環境整備
- ③農林水産業や商工業等自営業における女性の参画拡大

2 仕事と生活の両立支援

- ④男性の働き方の見直しと家庭・地域活動への参画促進
- ⑤ワーク・ライフ・バランスの推進

3 互いに支え合う家庭と地域

- ⑥地域ぐるみの家庭支援体制の充実
- ⑦地域における男女共同参画の推進
- ⑧男女共同参画の視点に立った防災体制の推進

4 安心して生活できる環境の整備

- ⑨生涯にわたる男女の健康対策
- ⑩生活のセーフティネット
- ⑪多様な人々が安心して生活できる環境の整備

5 次世代への継承

- ⑫若者の就労と出会いの支援
- ⑬多様な選択を可能にする教育・学習

きずなトピック

1型糖尿病患者によるバンド
「1-GATA」ボーカル

なか あらい み なみ

中新井 美波さん

バンド活動を通じて、病気の正しい理解を啓発

10万人に1、2人の割合で発症する1型糖尿病※。その原因は不明ですが、いわゆる生活習慣から発症しやすい糖尿病とは異なります。小学6年生で1型糖尿病を発症した中新井美波さんは、同じ患者であるTHE BOOMの山川浩正さん、作曲家の吉田敬さんとともにバンド「1-GATA」を結成し、心に悩みを抱えている人や同じ病気の人に夢を諦めないことを伝えるために活動しています。

Q 発症したときの様子を教えてください。

A 発症は野球をしていた時期です。体脂肪率はとても低く、「1型糖尿病です」と告げられた時、正直「私か?」と思いました。でもその時の主治医が「今は原因が解明されてないけれど、注射を打ってちゃんと血糖値をコントロール

ロールすれば何でもできるよ」と伝えてくれたので、前向きに捉えることができました。「不可能」と言われていた陸上競技にも約10年間打ち込むことができました。

Q どうしてバンドを結成することになったのですか。

A 2014(平成26)年の春に1型糖尿病のシンポジウムがありまして。私とメンバーの吉田は演者として招かれていて、発症したばかりの山川はサプライズゲストとして同じ会場にいました。その席で「1型糖尿病患者でも何でもできる」ということを伝えるために活動しよう、と結成しました。

Q 活動の内容は。

A 全国でライブを行いつつ、トークイベントや、CDを制作しています。1st singleの「キミ」という曲は、売上の収益金を、1型糖尿病完治に向けて研究している「認定NPO法人日本IDDMネットワーク」へ寄付させていただいております。協力いただいたみなさまに心から感謝しています。

Q 同じ病気で悩んでいる人へメッセージを。

A 「注射が嫌だな」「みんなにどう思われているのかな」など悩みが尽きないのが1型糖尿病です。偏見や誤

プロフィール

1991(平成3)年神戸市生まれ。幼少期から兄の影響で少年野球に7年間打ち込み、中学1年から本格的に陸上競技を始める。強豪校の須磨学園高校に進学後は、全国高校駅伝や都道府県対抗女子駅伝などに出場、好成績を収める。大阪学院大学では、3000m障害で関西学生記録を樹立。卒業を機に10年にわたる競技生活から引退し、モデル業、バンド、作詞家、講演活動、サッカー選手への走り方の指導など精力的に音楽とスポーツ活動に取り組む。子どもも楽しめる初ミニアルバム「ZOO」を発売(5/15)。

解で「会社で重要な役職に就けない」「部活でサッカー部に入れない」などの話をたくさん聞きます。それでも、他の誰でもない、あなたの人生です。身体と相談しながら「やりたいこと」をたくさんしましょう。私も数多くの嫌な思いをしましたが、陸上で結果を出し、今は歌だって歌っています。私たち「1-GATA」は悩んでいる時や、嫌なことがあった時、何かの決断の時に、少しでも傍にいられるようなそんな音楽を作っています。今後とも私たちは前進し続けるので、共に明るい未来を描いていきましょう。

※血液中の糖を分解するインスリンが分泌されなくなる自己免疫に関する病気。血糖測定をしながらか生体につけて毎日数回のインスリン自己注射またはポンプによる注射を続ける必要がある。



右から、山川さん、中新井さん、吉田さん。

新着図書紹介

やらない、しゃーない！
1型糖尿病と
不屈の左腕



著者 岩田 稔

発行所 株式会社KADOKAWA

2015(平成27)年4月、栃木県で1型糖尿病を患っていた少年が亡くなりました。祈禱師を自称する男が、治療に必要なインスリン注射を止めたことが原因です。少年と同じ病気を患っている阪神タイガースの岩田稔選手は正しい知識を啓発することの大切さを感じ、本書を執筆しました。

岩田さんは大阪桐蔭高校2年生の冬に、1型糖尿病を発病。高校卒業後は社会人野球に進むことが決まっていたものの、病気が原因で内定が取り消される辛い経験をしました。しかし、その悔しさをバネに病氣と向き合い続け、大学卒業後に阪神タイガースに入団。1日4回のインスリン注射を打ちながら日本代表にも選出されるなど、投手として活躍しています。

本書には、1型糖尿病についての正しい知識を啓発し、同じ病氣を抱える子どもたちやご家族に希望を持ってほしいという想いがつづられています。

ふれあいサロン

投稿&クロスワードで

オリジナル

フリクション蛍光ペン

をプレゼント!

「読者からのお便り」の投稿掲載者(平成28年8月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)に、「オリジナルフリクション蛍光ペン」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見や感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。※投稿はペンネームの使用も可能です。

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



応募方法締め切り

はがき、FAX、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。7月1日(金)締め切り(必着)

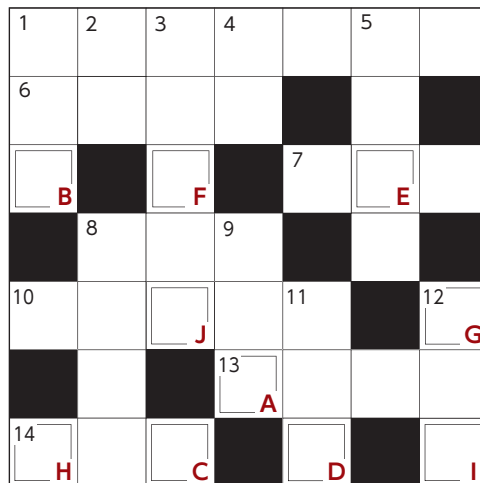
応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号
県立のじぎく会館内
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあい広場係
TEL:078(242)5355 FAX:078(242)5360
Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp

*応募者および投稿者の個人情報、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



問 A～Jの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう?



〇〇 たてのカギ

1. 激しく降る雨を「〇〇〇をひっくり返したよう」と表現します
2. さからわないで他人の言うままにしたがうこと。「〇〇諾々」
3. 相手の言葉や問いかけに応答すること。職場では自信をもってきびきびと行いましょう
4. 良いこと。「〇〇は急げ」
5. 一旦引き受けたからには最後まで〇〇〇〇をもってやり遂げたい
8. 基準となる数と同じか、それよりも多いこと。「予想〇〇〇〇の好成績を収める」
9. そこにいる人全部。〇〇〇〇の賛同を得られたらうれしいですね
11. 何よりも健康第一です。人間〇〇〇で精密な健康診断を!
12. 再生を目的として、テレビの画像をビデオテープなどに撮っておくこと

〇〇 よこのカギ

1. 本州沿いに停滞して雨の季節をもたらします
6. 実際に見たり触れたりやってみたりしてこれを積んでいきます
7. 歩調を合わせ〇〇〇三脚で頑張りましょう
8. 精神的苦痛。心の〇〇〇〇のわかる人でありたい
10. 伝説。言い伝え。伝説的人物の事を指すこともあります
13. わからないことがあれば〇〇〇〇がいくまで尋ねたい
14. ブランケット。肌寒い夜の寝具として重宝します

4月号の答え

ア タ ラ シ イ デ ア イ

● 一人で悩まないでご相談ください。 ● 相談は無料、秘密は厳守します。

女性のためのなやみ相談

県立男女共同参画センター・イーブン

女性が抱える様々な悩みや問題の解決に向けて、女性カウンセラーが、情報提供や気持ち・考え方の整理のお手伝いをします。

電話相談 078(360)8551 月曜～土曜(祝日、年末年始を除く) 9:30～12:00 13:00～16:30

面接相談 予約専用電話 078(360)8554 (要予約) 面接実地日時 月曜～金曜 11:00～18:40 土 曜 9:20～16:50

男性のための相談

家庭や職場での人間関係、子育てや介護、定年後の生き方についての悩みなど、男性臨床心理士が電話による相談に応じます。

☎078(360)8553 毎月第1・第3火曜(祝日、年末年始を除く) 17:00～19:00

兵庫県配偶者暴力相談支援センター

電話相談 「悩みのほっとライン」

配偶者からの暴力に関する相談を行っています。自分だけの力では解決の糸口が見出せなかったり、誰に相談してよいかわからない時などにご相談ください。匿名で応じます。

☎078(732)7700

9:00～21:00(土日・祝日も行っています。)



「のじぎく文芸賞」作品募集中



～あなたの思いを作品に書いてみませんか～

募集部門 小説・随想・詩・創作童話 **応募条件** 兵庫県内に在住、在勤、在学の方

<応募作品>

インターネット上を含む未発表・未投稿（他の文芸賞等への重複応募を含む）の自作の作品

■詳細については、協会ホームページをご覧ください。お電話（下記参照）でも尋ねてください。

応募方法 郵送で受け付け

募集期間 9月10日（土）まで（消印有効）

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
（公財）兵庫県人権啓発協会「のじぎく文芸賞」係



イベントガイド

丹波市 男女共同参画 講演会	日時 6月23日（木）19:00～20:45 場所 丹波市立春日文化ホール ※JR福知山線「黒井」駅下車徒歩3分 演題 地域を活かす「女性の活躍」～なぜ、いま「女性の活躍」が必要なのか？共に考えよう～ ●講師 朴木佳緒留さん（神戸大学名誉教授）	問い合わせ 丹波市まちづくり部 人権啓発センター TEL 0795(82)0242
兵庫県 男女共同参画 セミナー	日時 6月30日（木）10:00～12:30 場所 兵庫県立男女共同参画センターセミナー室 ※JR「神戸」駅から、ハーバーランド方面へ徒歩約3分 演題 男女がともに いつでも どこでも いきいきと ●講師 勝木洋子さん（神戸親和女子大学発達教育学部教授） 日時 6月30日（木）13:30～16:00 場所 兵庫県立男女共同参画センターセミナー室 ※JR「神戸」駅から、ハーバーランド方面へ徒歩約3分 演題 しなやかでたくましい女性のリーダーシップが21世紀を変える！ ●講師 三輪敦子さん（国連ウィメン日本協会理事・（公財）世界人権問題研究センター 研究員）	問い合わせ 兵庫県立男女共同参画 センター・イブン TEL 078(360)8550

ラジオ関西「ハートフルフィーリング 谷五郎のところにきくラジオ」（毎週月曜10:00～15:00）で、
14:35頃からきずなの記事を紹介しています。

人権に関する川柳を募集します！

いずれかのテーマに当てはまる川柳を募集します。
優秀作品は「きずな」に掲載し、オリジナルクリアファイルをプレゼント。

募集テーマ 同和問題、高齢者、職場

応募方法 はがき、FAX、メールで受け付け。
郵便番号、住所、名前（ペンネームの場合も併記）、
年齢を明記のうえ、ご応募ください。応募は、各
テーマお1人1点とします。7月1日（金）締め切り。

インターネット上を含む未発表・未投稿の自作の作品に限ります。

応募先 （公財）兵庫県人権啓発協会 啓発・研究部（下記参照）

ハーフ
half
タイム
time

「ひょうご男女いきいきプラン
2020」が策定され、男女共同参画
社会の実現に向けて職場や地域な
どで取り組みが一層進められていく
ことと思います。環境を整えること
もに問われているのは、私たち一人
ひとりの意識。社会の変化に合わせて、私たちの意識を変え
ていくことが大切なのだと思います。「男女共同参画」を
一つの切り口として、誰もが安心して過ごせる社会づくりが
推進されることを願います。
（小池）

「きずな」は、協会ホームページからもご覧になれます。

（公財）兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 ✉info@hyogo-jinken.or.jp

兵庫県人権啓発協会

検索

2016(平成28)年6月発行